

2015年12月2日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第44回 星 義輝 氏

(車椅子バスケットボールと車いすテニスの頂点を極めたパラリンピアン)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野清子 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度はパラリンピアンや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカスを当て、今回は 星 義輝 さんにご登場いただきます。

幼少期に下半身の自由を失った星さんは、中学で車いすの操作を学び、1965年第1回全国身体障害者スポーツ大会の卓球、水泳、陸上競技で金メダルを獲得。その後、4回のパラリンピックに出場、数々の記録を残します。42歳の1990年には車いすテニスに転向し、世界ランキング12位に入りました。また、2012年には47年ぶりに出場した全国身体障害者スポーツ大会の陸上競技で銅メダルを獲得しました。現在は東京都障害者総合スポーツセンターで車いすテニススクールのインストラクターをお努めです。山本浩氏をインタビュアーに、障害者を取り巻く日本のあるべき姿などについてお話を伺いました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『我が道ゆく“練習の虫”がもたらした財産』 星 義輝 氏

【公開日時】2015年12月2日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>【検索】[笹川スポーツ財団 歴史の検証](#) で検索ください

【主な内容】“手だけ”で山野を駆け回った少年時代/東京進出。パラリンピックとの出会いがスポーツとの出会い/車椅子バスケットボールの世界で頭角をあらわす/バスケットからテニスへ、新たな挑戦/現役を退き、子ども達の先生に/「残されたものを活かす」ために ほか

星 義輝 (ほし よしてる) 氏

1948年福島県出身。2歳でポリオを発症し下半身の自由を失う。1965年全国身体障害者スポーツ大会に出場。その後1976年トロント大会では陸上競技で金メダルを獲得し、1980年~1988年の大会には、車椅子バスケットボールの日本代表チームとして出場する。1990年には車いすテニスに転向し、世界ランキング12位に入る。現在は東京都障害者総合スポーツセンターで車いすテニススクールのインストラクターを務める。

山本 浩 (やまもと ひろし) 氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員(スポーツ・体育分野専門)として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)
TEL:03-5545-3301 info@ssf.or.jp